

第24回ヨーロッパ青少年消防オリンピックに 日本代表チームが出場

【7月21日～28日 イタリア共和国 ボルゴ・ヴァルスガーナ】

公益財団法人 日本消防協会

1 はじめに

日本消防協会と日本防火・防災協会は、少年消防クラブ育成支援の一環として、今年7月にイタリア共和国・ボルゴ・ヴァルスガーナで開催された第24回ヨーロッパ青少年消防オリンピックに、4つの少年消防クラブを派遣しました。

この大会は、CTIF（ヨーロッパ各国を中心に組織する国際消防組織で日本も加盟）が2年に1回開催しているもので、今回は22か国、60チームが参加しました。

日本は2009年チェコ、2015年ポーランド、2017年オーストリア、2019年スイス大会に続く5回目の出場です。

2 派遣団は総勢30名

派遣団は各クラブ員20名、引率者4名の合計24名と、日本消防協会職員6名を合わせた総勢30名です。

JAPAN 1	埼玉県	三郷市少年消防クラブ
	兵庫県	Bosai Jr.消防団ひょうご
JAPAN 2	東京都	日本橋消防少年団
	高知県	中土佐ジュニア消防団

3 2種目の競技に参加

競技はホース延長や放水、ロープ結索など消防の実技を取り入れた障害物競技と、筒先をバトンに、高塀越え、ホース・消火器の搬送等を行う400mリレーの2種目です。不慣れなヨーロッパ仕様の資器材を使用したこともあり、結果は参加60チーム中、JAPAN 1が55位、JAPAN 2が56位と思うような結果は得られませんでした。選手たちが一生懸命取り組む姿勢に、会場からは多くの温かい拍手や声援が送られました。



障害物競技の様子



400mリレーの様子

4 国際交流イベント

大会期間中には、消防競技と並行して様々な国際交流イベントも開催されました。



多くの人で賑わう日本ブース



水や泥にまみれて楽しみました。



練習の成果を遺憾なく発揮

国別展示の日本ブースでは、『折り紙』の実演や『書初め』が好評で国を超えた交流を深めることができました。

また、他国の子供たちとともに約60種類のレクリエーションゲームを行ったキャンプオリンピックでは、水や泥にまみれてゲームを楽しみました。

5 「お国自慢」大会 優勝！

音楽、ダンス、光の3つの要素を取り入れた「オタ芸（サイリウムダンス）」を披露し、参加22か国中、第1位という快挙を成し遂げました。人気アニメソング（YOASOBI「アイドル」）に合わせて披露した日本独自の「オタ芸（サイリウムダンス）」は、日本のアニメや音楽

などのサブカルチャーが広く浸透するヨーロッパの方々からも「So beautiful!!（とても美しい）」など称賛の言葉を数多くいただき、会場は熱狂に包まれました。

6 おわりに

今回のオリンピック派遣期間、クラブ員はもちろん参加者すべてが大変貴重な経験をさせていただきました。遠くイタリアの地で戸惑うこともありましたが、同行してくださった添乗員さん、現地ガイドさん、通訳さんなど様々な方々にご協力をいただき、充実した日々を過ごすことができました。地域防災活動等々でクラブ員たちがこのイタリアでの経験を、今後の人生に大いに活かしてくれることを期待します。

